北陸支部報

2023/1/17
第 19 号

目　　次

年頭のご挨拶　（公社）日本測量協会北陸支部　鹿田支部長・・・・・・1
年頭のご挨拶　国土地理院北陸地方測量部　伊藤部長・・・・・2
支部役員会開催・・・・・・

年頭のご挨拶

（公社）日本測量協会北陸支部長
鹿　田　正　昭

新年明けまして、おめでとうございます。令和５年（2023 年）新年の年頭にあたり、皆様とともに謹んで初春をお祝いいたします。

北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し、衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナ感染症も少し落ち着きを見せたかのように思われましたが、オミクロン株の出現による第 8 波が押し寄せており、いまだに先が見通せない状況になっています。しかし、この先は With コロナ、After コロナとして社会経済を廻すためにも、感染に対する最大限の注意をはらいながら、この感染症と共存していく必要があります。

一昨年は開催を断念した空間情報技術事例発表会は、昨年は全国的に感染者が多い 7 月ではありましたが参加者を限定し、感染対策を万全にして実施いたしました。

昨年の空間情報技術事例発表会は一昨年と同様に感染対策を万全にして福井県国際交流会館で実施し聴講者は 74 名でした。発表者の情報についてはすでに北陸支部 HP などで公開していますのでご存知のことと思いますが、4 名の支部会員と福井工業高等専門学校の学生 2 名が発表しました。最優秀賞には「スマホを用いた 3 次元計測の活用について」を発表された京福コンサルタント㈱の松宮玄尚さんが、優秀賞には「高度な三次元点群テータを用いた地形の面的変状解析」を発表された㈱サンワコンの萩原春親さんが選ばれました。最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する「空間情報技術事例報告集」に可能な限り投稿していただきたいと思います。また、惜しくも選外となられた方々も積極的に投稿されることを期待します。

今年の業務報告会および空間情報技術事例発表会は新潟ユニゾンプラザ（新潟市）において開催する予定です。新潟県の会員の皆様はもちろんのこと、その他北陸 3 県の方々からの積極的な発表・聴講を期待します。

私事ではありますが、平成２１年より１４年間にわたり北陸支部長を務めさせていただきましたが、令和 4 年度をもって退任させていただくことになりました。この間、支部の皆様方には空間情報技術事例発表会の新設、業務報告会を北信越 4 県での持ち回り制にするなど、何かとご迷惑をおかけしたかと思いますが、ご寛容いただければ幸いです。次期支部長は人文地理学、地理学がご専門で空間情報分野にも造詣の深い富山大学学術研究部人文科学系教授の大西宏治先生にお願いすることになっています。会員の皆様方には大西支部長を中心に引き続き支部活動にご絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶と支部長退任のご挨拶とさせていただきます。

金沢工業大学教育支援担当副学長

年頭のご挨拶

北陸地方測量部長
伊　藤　純　一

あけましておめでとうございます。

公益社団法人日本測量協会北陸支部及び会員の皆様には、日頃から国土地理院北陸地方測量部の業務にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴支部が、長きにわたり測量及び地理空間情報の普及発達を図り、国土の利用、整備又は保全に多大な貢献をなされていることに対し、心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症を契機にデジタル技術の活用が進展し、生産性や安全性向上を図るためのインフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の取組が急速に進んでいます。そうしたなか、令和４年度から新しい地理空間情報活用推進基本計画が始まりました。

国土地理院関連では、「高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進」がシンボルプロジェクトとして登録されています。この取組は、DXに関連する内容で、位置情報を整合させるための共通ルール「国家座標」に準拠した3次元・4次元の地理空間情報を誰もが容易に整備・利用できる環境を整備するものです。

具体な施策として、衛星測位による高精度な位置情報が官民の様々な分野で安心して利活用可能となるよう、電子基準点網の適切な運用、民間等電子基準点の登録制度の普及促進、地殻変動補正の仕組みの精度向上や安定的な運用の確保、新たな標高基準の整備等により、信頼性の高い位置情報の流通を図るとともに、デジタルツインの実現に不可欠な3次元地図の作成基盤となる基準類や3次元点群データの整備を進めていくものです。

近年の激甚化・頻発化する自然災害から国民の命と暮らしを守るため、国土地理院では、国土を「測る」「描く」「守る」「伝える」という４つの役割を通じて、防災・減災対策の基礎となる災害リスク情報整備に関する取組、G空間社会を実現するための多様なサービスの創出・提供に資する取組について重点的に取り組んでいきます。さらに、昨年6月に震度6弱を観測した石川県能登地方の地殻変動原因解明に貢献するため、可搬型GNSS連続観測装置（REGMOS）による継続した観測、過去の被災状況を伝える自然災害伝承碑の地図への掲載を通じた地域における防災意識の向上や防災・地理教育への支援を行っています。今後も、強靱な国土づくりのための防災・減災に資する取組を一層進めていきます。

おわりに、日本測量協会北陸支部の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

北陸支部役員会開催

12 月 21 日（水）にオンラインで北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画（案）の概要について役員の皆さんに報告し、意見を伺うものです。

今年度の講習会実施状況は、COVID-19 の影響により中止となった講習会はありませんでした。ここ数年の受講者数は、新型コロナウイルス感染拡大対応等により受講者数が大幅に減少していましたが、今年度（11 月現在）の計画人員に対する受講者数は、北陸地域を襲った災害対応の影響もあり若干少なめとなりました。

北陸支部の会員状況は、令和 4 年１２月末現在、正会員、準会員、特別会員の総数が７２３名となっております。ここ数年の会員総数が７２０人位前後で推移していましたが、令和 4 年３月末と比較すると９名の増加です。高齢のため仕事からリタイヤされた方が多かった半面、講習会の同時入会する人数が復調したためです。今後、入会していただく方が増えるように一層ＰＲ等を行っていきます。

次年度事業計画（案）は、ほぼ今年度と同様の講習会或いは行事等を、開催場所を変えて行っていくこととしています。

ＵＡＶ関連の講習会を４コース計画しており、そのうち３コースは、要望が多い実習を伴うＵＡＶ取得データ関連の講習会としています。加えてデータ処理の講習会「３Ｄ点群モデル解析基礎技術」を実施します。

業務報告会は、新潟県新潟ユニゾンプラザにて 7 月 10 日の開催を予定しています。業務報告会終了後同会場で引き続き空間情報技術事例発表会を開催します。数多くの方に視聴して頂くために同時配信で発表内容を聞いて頂くよう準備中です。また、審査を行う時間に北陸地方測量部の担当官からの講演を予定しております。

「公共測量講習会（新潟会場）」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」（平成 17 年制定）」、「地理空間情報活用推進基本計画(平成 29 年第 3 期策定)」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象とした、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸支部では、10 月 25 日(火)に新潟ユニゾンプラザで「公共測量講習会(新潟会場)」を開催しました。新潟市の開催は、平成 30 年以来 2 回目の開催となります。

今回の講習会は、北陸地方整備局、国土地理院北陸地方測量部、新潟県の後援を頂き、新潟県内の国、地方公共団体の測量計画機関の実務者を対象としたものです。

講習会では、国土地理院北陸地方測量部の協力をいただき、部長から挨拶と公共測量の手続きについて説明があり、当協会からは基準点測量、用地測量、公共測量成果の品質確保について説明を行いました。

測量計画機関の担当者の方々にこのような機会を通じて公共測量への理解が深まることが期待されています。

講習会開催状況（令和４年度開催分）

開催日	講　習　会　名	会　場	参加者
4 月 21 日	測量数学・誤差学の基礎	富山市（測量会館）	3 名
4 月 26 日	路線測量・用地測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	7 名
5 月 16 日～19 日	路線測量設計（１）	富山市(市町村会館)	3 名
5 月 25 日	ネットワーク型ＲＴＫ法による基準点測量	新潟市（ユニゾンプラザ）	15 名
5 月 30 日～5 日	基準点Ａ課程	富山市(市町村会館)	13 名
6 月 8 日～9 日	ＵＡＶ取得データ用いた写真測量と地形図作成	新潟市（ユニゾンプラザ）	16 名
6 月 27 日～1 日	基準点Ｂ課程	新潟市（ユニゾンプラザ）	15 名
7 月 27 日	ＵＡＶ用いた空中写真測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	22 名
8 月 1 日～5 日	防災調査（１）	富山市(測量会館)	3 名
8 月 3 日	ＵＡＶ取得データ用いた災害地の計測調査	富山市(市町村会館)	14 名
8 月 30 日	GNSS による基準点測量	富山市(市町村会館)	20 名
9 月 9 日	電子基準点利用による基準点測量及びＧＮＳＳ水準測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	20 名
9 月 12 日～16 日	路線測量設計（２）	富山市(測量会館)	1 名
10 月 4 日	測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	新潟市（新潟ユニゾンプラザ）	22 名
11 月 7 日～10 日	防災調査（２）	富山市(測量会館)	2 名
11 月 29 日	UAV を用いた新たな計測技術とその利用（ビデオ講習会）	金沢市(石川県地場産業振興センター)	24 名
12 月 7 日	ＴＳによる３・４級基準点測量	福井市（福井県国際交流会館）	10 名

○「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びＧＮＳＳ水準測量」

9 月 9 日に金沢市にある「地場産業振興センター」において「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びＧＮＳＳ水準測量」の講習会を開催しました。

この講習会は、ＧＮＳＳ水準技術を用いた『電子基準点利用による基準点測量及びGNSS水準測量』について実施しました。

また、「公共測量作業規程準則」等基づく作業計画から平均計算までの解説及び『主要な成果品の作成・とりまとめ』など、「成果品の中身をより深く理解していただく」「実務に役立つ」内容で解説しまし、実作業に役立つものです。

○「ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測と調査」

8 月 3 日に富山市の「市町村会館」において「ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測と調査」講習会を開催しました。

実際にUAVで取得されたデータを用いて、災害対応における災害地の撮影ポイント及び留意点、UAV取得データを用いた計測とクラウド処理、災害地の計測調査事例など実習を通じて新しい技術取得を学習する内容です。災害の初期対応として迅速な測量調査等実際の作業に大変役に立つ講習会です。

○「ＵＡＶを中心とした複合的な計測とその利用」

11 月 29 日金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、「ＵＡＶを中心とした複合的な計測とその利用」セミナーを開催しました。このセミナーは、ＵＡＶレーザーによる積雪状況の把握、水深測量、地形測量等総合的な関連動向を中心とした内容となっており、その利活用効果などを広く知ってもらうこと目的として、測量・地理空間情報分野の技術者や管理者などの実務者の方を対象に測量・地理空間情報分野の利活用の実態、事例を通じて情報提供する事を主眼として行われています。東京で行われたセミナーを収録した動画記録（ビデオ）を聴講する方法で行いました。具体的な内容は、ＵＡＶ計測技術の関連動向、ＵＡＶレーザー計測＋TLS による地形測量、ＵＡＶレーザー計測＋ＵＡＶ写真による積雪状況把握、ＵＡＶ複合的計測手法を用いた構造物の３Ｄモデル生成など多岐にわたるＵＡＶの最新の情報を提供しました。毎年リニューアルされた内容のセミナーとなっていますので来年のセミナーもご期待下さい。

○「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」

10 月 4 日新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において、「測量・空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」を開催しました。

このセミナーは、一般社団法人新潟県測量設計業協会と共催での開催となりました。日本測量協会及び各県測量設計業協会の会員は無料で参加できるセミナーとなっています。

日本測量協会では、会員の皆様に少しでもお役に立てられるセミナーの開催を目的に行っており、従前の「地理空間情報技術セミナー」「ＣＰＤ利活用セミナー」「スキルアップセミナー」のエッセンスをコンパクトに受講できるように 1 日にまとめセミナーです。「準則の最新動向、技術講習会等の活用ポイント」「ＵＡＶを主体とする複合的な計測とその利用」「技術提案書作成とその作成方法（私流）」「測量技術者が上位資格を取得するために（私流）」「測量成果の品質管理等について」の講習が行われました。

行　事　等　の　報　告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会では、11 月 23 日から 27 日まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」において、「第 16 回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の応募作品の中から入賞作品に選ばれた 11 点（小学生 9 点、中学生 2 点）を展示したもので毎年開催しています。

表彰式は、展示会初日の 11 月 23 日にフューチャーシティ「ファボーレ」のファボーレホールにて行われました。最優秀作品の「とやま地図作品研究会長賞」には、小学生の部の富山市熊野小学校 5 年生黒田湊右さんの作品が選出されました。黒田さんの作品は、茨城県つくば市にある国土地理院の「地図と測量の科学館」で 1 月 4 日から開催される「第 26 回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展し、最優秀作品は文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦しました。

また、富山大学付属小学校 2 年生長谷部紗良さんの作品他 5 作品を「第 26 全国児童生徒地図優秀作品展」へ出展しました。作品は、茨城県つくば市にある国土地理院「地図と測量の科学館」で 1 月 4 日から 2 月 19 日、ＮＨＫ大阪放送会館アトリウムで 2 月 23 日から 3 月 6 日まで展示されることになっています。

会員の状況（令和４年 12 月末現在）

区　分	3.3 末	4. 12 末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	５３９	５４９	＋１０	252 (−1)	107 (+6)	137 (+3)	53 (+2)
準 会 員	1	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別会員	１７５	１７４	－１	81 (−1)	39 (0)	34 (0)	20 (0)
合　計	７１４	７２３	＋９	333 (−2)	146 (+6)	171 (+3)	73 (+2)

令和５年度北陸支部事業計画（案）

本　部　主　催　講　習　会	場　所	時 期（期間）
基準点測量Ａ　測地論コース	富山市	９月（6 日間）
基準点測量Ｂ課程（実習無）	富山市	10 月(56 日間)
河川測量設計課程（Ⅱ）	富山市	10 月（5 日間）
基準点Ｂ課程（実習無）	富山市	10 月（5 日間）
環境調査過程（Ⅰ）＋リアルタイム　最終日に認定試験	富山市	6 月（4 日間）
環境調査過程（Ⅱ）＋リアルタイム　最終日に認定試験	富山市	9 月（4 日間）

北　陸　支　部　主　催　講　習　会	場　所	時 期（期間）
基礎講座　測量数学・誤差学の基礎	新潟市	4 月（1 日間）
路線測量・用地測量	新潟市	4 月（1 日間）
ネットワーク型ＲＴＫ法による基準点測量	福井市	5 月（1 日間）
ＵＡＶ取得データを用いた写真測量と地形図作成	金沢市	5 月（2 日間）
ＵＡＶを用いた空中写真測量	新潟市	7 月（1 日間）
ＧＮＳＳによる基準点測量	新潟市	8 月（1 日間）
３Ｄ点群モデル解析基礎技術	金沢市	8 月（1 日間）
ＵＡＶ取得データを用いた災害地の計測調査	新潟市	9 月（1 日間）
測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	金沢市	10 月（1 日間）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及び GNSS 水準測量	富山市	11 月（1 日間）
ＴＳによる３・４級基準点測	金沢市	11 月（1 日間）
ＵＡＶを用いた新たな計測技術とその利用	富山市	12 月（1 日間）
測量士答案練習セミナー	新潟市	3 月（5 日間）
測量士補答案練習セミナー	新潟市	3 月（4 日間）

習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

行　　事　　等	場　所	開催時期
北陸支部業務報告会	新潟市	7 月
北陸支部空間情報技術事例発表会	新潟市	7 月
北陸支部役員会	Web	6 月 12 月
公共測量品質管理優秀賞表彰	新潟市	7 月
公共測量講習会（測量計画機関対象）	富山市	11 月

１．北陸支部報
7 月及び 1 月に本部ホームページへの掲載による刊行を行う。
２．北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月 1 回配信する。

３．ホームページ（測量情報館）のＷｅｂサイト「支部からのお知らせ」

会員への情報伝達手段として、「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。

北陸支部では、空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、令和４年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。

加えて、この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

応　募　概　要

１．募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

２．応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね 40 才未満の者とする。

３．発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑５分）

４．発表日時及び場所

日時：令和５年７月 10 日（月）14：00～場所：新潟ユニゾンプラザ(新潟市)

５．応募

⑴ 発表希望者は、３月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

⑵ その後、発表の決定を受けた者は、５月末までに発表する内容の概要（要点：200～300 文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

⑶ 発表当日の資料(別途標準様式により作成)は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

６．表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

《問合せ・応募先》　公益社団法人日本測量協会北陸支部

〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14

測量会館ＴＥＬ　076-422-3305　ＦＡＸ　076-422-3403

E-mailhokuriku@jsurvey.jp

謹賀新年

昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました
今年もよろしくお願いします
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

令和五年　元旦

公益社団法人
日本測量協会北陸支部
職員一同

測量CPD及び技術者継続教育証明制度（SUCCESS）の登録、更新を行いましょう。

編集・発行　　公益社団法人　日本測量協会　北陸支部
〒939-8094　富山市大泉本町 1-12-14　（測量会館内）
○　事　務　局　・TEL 076（422）3305　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@jsurvey.jp
○　技術センター　・TEL 076（421）5445　・FAX 076（422）3403
E-mail　hokuriku@geo.or.jp